

～農業者にも経営感覚を！～
赤松 拓也さん（鬼北町）

あかまつ農園 1978 年生まれ
ホームページ <http://15-house.com/>



☆経営概況☆

両親とともに、いちごの観光農園と直売（55a うち観光農園は 20a）と水稻の生産直売（約 7ha：水稻エコえひめ認証）に取り組んでいます。（パート 最大 11 名）

☆ここがポイント☆

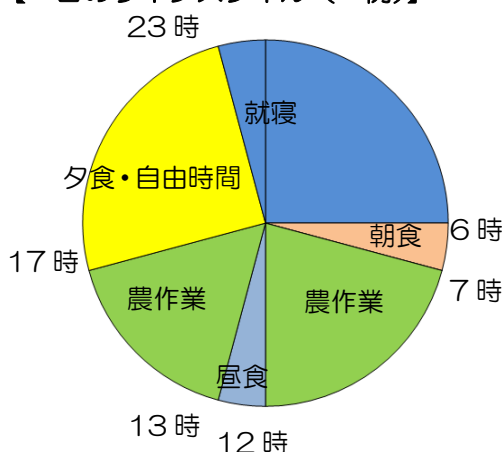
■システムエンジニアからいちご農家に大転身！

お客さんとのやり取りをとおして、もの作りの楽しさと消費者の反応を直に感じることができる農業に魅力を感じて実家の農業を継ぎました。就農後は、**システムエンジニアとしての経験を活かし、ビジネスとして農業を捉え、緻密な経営管理に取り組み、就農前以上の収入を実現**できています。

■愛媛発の希少な品種でブランディング！

美味しい農産物を作ることが農家のブランディングの基本であると考えています。そのため、希少で食味がよく愛媛発の品種である、レッドパールとあまおとめを生産しています。そして、その美味しいいちごのトップの品質のものは**香港へ輸出したり、東京の老舗果物店高野フルーツパーラーや県内の有名洋菓子店に販売**したりすることによりブランド価値を高めています。

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

高齢化・過疎化していく農村地域の活性化につなげようと、青年会議所に所属し、町おこしのイベントに積極的に参加し、地域活性化のお手伝いをしながら、地元の商店等の経営者との情報交換等も行っています。

学生時代から始めたテニスで、自分でサークルを作り地域の若者たちとの交流にも取り組んでいます。

また、月 1 回程度趣味と実益を兼ねて、東京へ赴き会社員時代の仲間との交流や販売会を行っています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

	月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	常に何らかの作業をしています			週 1 日は休日をとります			
【普段】	作業等（不定期ですが週 2 日の休日をとってます）						



テニスサークルの仲間たちと

☆これからの夢や目指すもの☆

■大規模で環境にやさしいいちご農家を目指して！

いちご 1ha の大規模法人経営を目指しています。そのために、自分自身も、経営者として成長することが必要であると思っています。また、品質の低いものや熟れすぎたものなどは冷凍して水産会社に買い取ってもらいペレット化して養殖魚の餌にするなど、**廃棄物ゼロの環境にやさしい農園**を目指しています。

☆メッセージ☆

■農業を子供たちがあこがれる職業に！

農業はやり方次第で**十分な収入と余暇の時間が確保できる夢のある職業**です。人を雇い、作業を任せ、指示・管理していくといった経営感覚を身につけ、子供たちがあこがれる職業に農業をしていきましょう！